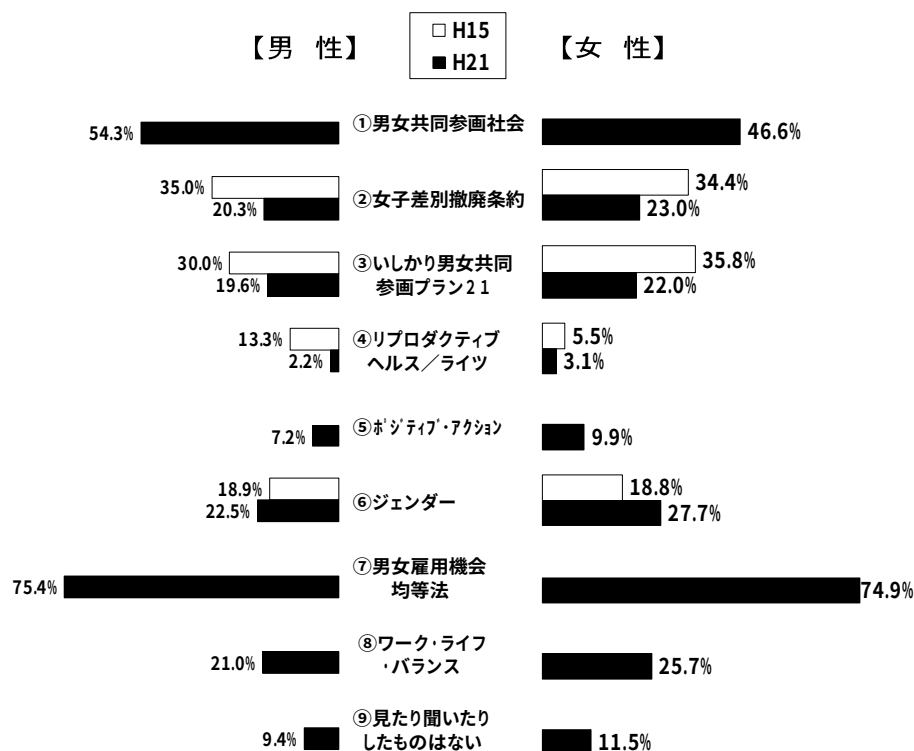


男女共同参画社会の形成に関する意識について

問15 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか？

- (当てはまるものすべて)
- ① 男女共同参画社会
 - ② 女子差別撤廃条約
 - ③ いしかり男女共同参画プラン21
 - ④ リプロダクティブヘルス／ライツ (性と生殖に関する健康／権利)
 - ⑤ ポジティブ・アクション (積極的改善措置)
 - ⑥ ジェンダー (社会的に作られた性別、性差)
 - ⑦ 男女雇用機会均等法
 - ⑧ ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)
 - ⑨ 見たり聞いたりしたものはなし



※②、③、④、⑥のみ平成15年調査実施項目

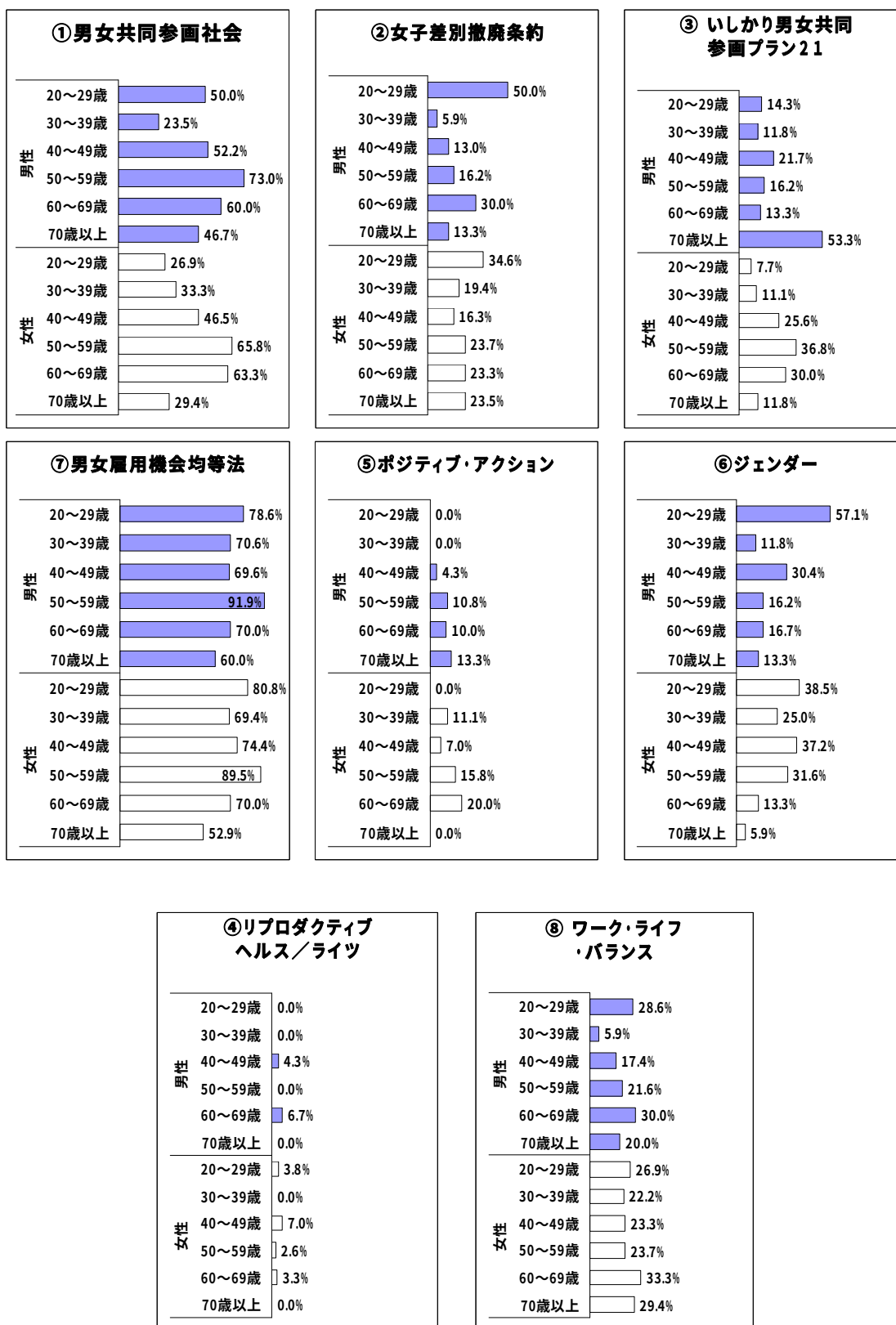
一番多かったのが「男女雇用機会均等法」で男性75.4%女性74.9%。2番目が「男女共同参画社会」で男性54.3%女性46.6%。次は「ワーク・ライフ・バランス」で男性21.0%女性25.7%と一気に低くなります。

一番低いのは「リプロダクティブヘルス／ライツ」の男性2.2%女性3.1%で、これは平成15年度調査時の男性13.3%女性5.5%から更に下がっています。

男女の割合はどの項目もほぼ同じですが、8項目中6項目で女性の方が男性より回答率が高くなっています。また「見たり聞いたりしたものはなし」と答えた割合も女性の方が高くなっています。

前回調査でも採り上げた言葉のうち「女子差別撤廃条約」「いしかり男女共同参画プラン21」「リプロダクティブヘルス／ライツ」は認知度が下がり、「ジェンダー」はあがりました。

[男女別／年代別の認知度]



男女合計で一番認知度が高かったのは「男女雇用機会均等法」で全年代の認知度が平均して高く、次に認知度が高かった「男女共同参画社会」は、最も高いのは50代男性73.0%ですが、2割台が20代女性、30代男性、70代女性、3割台が30代女性と年代・性別により認知度に差があります。

全体に認知度が高い世代は50、60代です。20代は「女性差別撤廃条約」「ジェンダー」で他の年代に差をつけて認知度が高くなっています。

男女間で差がある項目は「いしかり男女共同参画プラン21」で、男性は70代の53.3%以外はどの世代もほとんど1割台なのに対し、女性は20代の7.7%以外は40代25.6%、50代36.8%、60代30.0%と50代を中心に高く、同世代の男性との差が開いています。

認知度が低かった「ポジティブ・アクション」は、20代では男女とも0.0%と知っている人はいませんでした。30代以上では年代があがるにつれて認知度も微増傾向がでています。最も低かった「リプロダクティブヘルス／ライツ」は0.0%が20代男性、30代男女、50代男性、70代男女、その他の世代も総じて低く、全世代・性別でほとんど知られていない状況となっています。